

「新国会」 政務調査費による市外調査報告

作成 畑野 久一、平野 久樹

1. 日 時 平成19年7月5日（木）～7月7日（土）
2. 視察目的 ① 滝川市活力再生プランの策定と取り組み状況について
② J R北海道での導入に向けた背景、当地域での実現性の把握
3. 視 察 先 ① 北海道滝川市
② J R北海道 鉄道事業本部 DMV 推進センター
4. 視察議員 畑野久一、野本信行、斉藤伸一、平野久樹 計4名

◎ 滝川市（活力再生プランの策定と取り組み状況について）

対応社 中田議長
総務部行政経営室 五十嵐室長 、 浦川

<プラン策定の背景>

- ・ 滝川市は人口約 45,000 人の当市と同規模の都市であり、周辺市町と合併を進めたが、それぞれの市町が抱える公立病院の取り扱いで協議が進まず「離脱」～「自立」の道を選択した。
- ・ しかし、少子高齢化の中で老年人口の増大、生産年齢人口の減少傾向が進むことは避けられず、市の財政状況は一層厳しさを増すことが予想される。
- ・ こうした背景の下、次の世代に負の財産を残さないために、今こそ大胆な見直しを行うと共に市民と行政、議会がタッグを組んで「活力あるまち」を作り上げていく必要があり、その為の具体的な方向性と取り組み指針を示したプランである。

<プランの基本理念>

- ・ 身の丈に合った行政（組織とサービス）展開

<基本方針>

- (1) 内部コストの徹底した削減
- (2) 仕事の仕組みを変える
- (3) 行政サービスの選択
- (4) 活力再生のための重点施策の実施

<重点施策の主な内容例>

- (1) 内なる改革
 - ① 組織機構簡素化、業務の効率化、職員の採用3年間停止
 - ② 第三セクターと土地開発公社の健全化 他
 - ③ 市有財産の処分と新たな収入開拓（滞納者への早期対応）
- (2) 外なる改革
 - ① 施設廃止の検討（幼稚園、スキー場、温水プール 他）
 - ② 補助金削除（市立幼稚園就園奨励金、奨学金事業 他）
 - ③ 市民の応益負担（使用料・手数料の見直し、軽自動車税の増額 他）
 - ④ 行政サービスの見直し（小中学校の再編、市立病院の改革、除排雪、街灯補助見直し 他）

◎ JR 北海道DMV (デュアル・モード・ビークル) 推進センター

対応者 北海道旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 DMV 推進センター
主管 難波 寿雄 、 遠藤 学

<DMV 開発の経緯>

- ・ H14 年 10 月より開発開始

身の丈に合わせたシステム = ①輸送量(お客様)に見合った輸送力(車両)

JR 北海道内 2,500km で 500 人/日未満が多い

- ②地上のインフラの軽減

日産シブリアン (マイクロバス) を改造 --- レール幅ビッチ、軽量

車両経費 --- 従来 1.2 億円 → DMV 2 千万円

- ③地域に役立つ乗り物(少子高齢化、シームレス)

↓
鉄道も道路も走りたい

- ・ 北海道運輸局、国土交通省、JR 北海道、学識経験者により、ガイドラインを作成し、H19 年 4 月 14 日試験的営業運行開始。
- ・ 静岡県富士市、千葉県いすみ鉄道で導入に向けた検討に入る。

<DMV (デュアル・モード・ビークル) とは>

- ・ 道路とレールを双方向に走行可能なバスで、乗り換えがわずか 10~15 秒。
- ・ 既存のレールと道路をそのまま走行するので、大規模なインフラ整備が必要ない。

<運行コスト>

	燃費	重量	メンテ経費
DMV	: 6.0km/L	6.5ton	100 万円/年 (レールの損傷は殆どない)
気動車	: 1.4km/L	40ton	440 万円/年

<今後の課題>

- ・ 今冬で雪対策の長期テストを実施予定。
- ・ 定員増を検討 (現状 12 人 → 29 人乗り 連結 3 両 約 90 人) し、量産化に向け開発中。
- ・ 現在の制度では JR 職員が道路上のバスを運転できないため、レール上と道路上の運転士が必要となっている。解消するためにはバス会社の運転士が鉄道の免許を取得すれば一人で運転が可能となる。従って、自治体と地元バス会社の共同による導入が重要。

<感想>

- ・ 試験運行に乗車したが、路線運行や観光目的での運行として導入に向けた可能性は大きく、各地で導入を目指した検討が進められている。JR 西日本も開発に向け視察を繰り返しているようで、新幹線開通後の在来線収支改善策や大糸線存続への一考として、導入への可否も含めた JR と行政の協議を進めるべきと感じた。また、当地域の場合は冬場の対策が重要となるため、JR 北海道による今冬のテスト結果を確認する必要がある。
- ・ 試験運行 3 ヶ月で約 4 割が行政や 3 セクによる視察とのことであり、また試験運行前の開発段階で 4,000 人もの視察があり、各地で検討の俎上に乗せようと必死に取り組んでいるようだ。

<DMV試験運行 乗車視察>

平成19年7月7日(土) DMV1号に乗車



JR北海道DMV推進センター職員から説明を受ける。(7月6日)



乗車前に記念撮影。



運行前にJR運転士による運行前点検。車輪の出し入れの点検。(レールが出た状態)



JR釧網線 浜小清水駅から藻琴間で運行。レール上を運行中。



途中駅では多くの観光客がDMVを待ち構え、写真撮影。



道路上は運転士が網走バス職員に交代。



道路を運転中。



現状は制度の問題で、切符はJR区間とバス区間の2種類が必要。